

52 回生シラバス

科目名： 単位数： 哲学 1		担当者： ① 非常勤講師（外部講師）	総時間数（回数）： 15 （8）	時期： 1 年 後期
科目目標： ・「対象を理解するとはいかなることか」を、「現象学」という哲学の視点から明らかにし、「患者を理解すること」について思考を深める。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前課題
1	病いの意味	疾患と病い 医学の視点と患者の経験	講義 ①	教科書① 18-31 頁、 98-116 頁
2	現象学（1）	フッサール：意識の志向性の現象学	講義 ①	教科書① 34-54 頁
3	現象学（2）	ハイデガー：世界内存在の現象学	講義 ①	教科書① 54-79 頁
4	現象学（3）	メルロ＝ポンティ：身体の現象学	講義 ①	教科書① 79-95 頁
5	現象学的人間観（1）	ベナー／ルーベル『現象学的人間論と看護』 身体化した知性、背景の意味	講義 ①	教科書① 118-137 頁
6	現象学的人間観（2）	ベナー／ルーベル『現象学的人間論と看護』 気遣い／関心、状況、時間性	講義 ①	教科書① 138-179 頁
7	現象学と医療ケア	患者をトータルにみるということ	講義 ①	教科書① 182-203 頁
8	終講試験		試験 ①	
教科書 ①『医療ケアを問いなおす——患者をトータルにみることの現象学』ちくま新書、2018 年 参考書 ① ベナー／ルーベル『現象学的人間論と看護』医学書院、1999 年 ② 松葉祥一／西村ユミ [編]『現象学的看護研究——理論と分析の実際』医学書院、2014 年			評価方法 リアクションペーパー 40 点 筆記試験 60 点	
			評価基準 60 点以上で合格とする。	

科目名： 情報リテラシー	単位数： 1	担当者： 非常勤講師	総時間数（回数） 30 （15）	時期： 1年後期
科目目標： ● セキュリティ確保や個人情報保護・著作権の基本的な考え方を学び、看護専門職として適切に対処できる基礎能力を身につける。 ● 情報とは何か、情報をどのように利用するのかを理解し、コンピュータ及びソフトの操作・活用を習得する。 ● コンピュータの仕組み、その利便性、社会への影響、個人情報の保護、ネットワーク倫理について学ぶ ● コンピュータを用いての文書作成、データ作成、データ解析、統計的解析の基礎を学ぶ ● 効果的なプレゼンテーションの技法				
回	単元	単元目標と内容	方法	学習範囲※1 事前学習
1	情報化社会におけるコンピュータの位置づけ	情報化社会の発達の歴史を辿ることで現代社会におけるコンピュータの位置づけを学び、医療現場におけるその役割を理解する。	講義	情報モラル&情報セキュリティ編 ウィンドウズ編
	情報倫理	セキュリティ確保や個人情報保護・著作権		情報倫理と医療個人情報の保護
2	コンピュータの仕組み	Windows の基本操作、及びコンピュータのハードウェアとソフトウェアなどの構成を学ぶ	講義 実習	
	インターネットとセキュリティ	インターネット利便性 ネットワーク環境におけるセキュリティ		
3	ワープロソフトの利用	Word の基本操作	実習	文書作成編
4	ワープロソフトの利用	文書作成	実習	
5	ワープロソフトの利用	Word と Excel の総合演習	実習	
6	ワープロソフトの利用	Word と Excel の総合演習	実習	
7	表計算ソフトの利用	Excel の基本操作、表作成	実習	表計算編
8	表計算ソフトの利用	関数の利用	実習	既存の情報の収集法
9	表計算ソフトの利用	グラフの作成	実習	
10	表計算ソフトの利用	統計解析	実習	
11	プレゼンテーションソフトの利用	効果的なプレゼンテーションの方法を学ぶ	講義 実習	プレゼンテーション編
12	プレゼンテーションソフトの利用	必要とする情報を簡潔にまとめ、視覚化する手法を学ぶ 1	実習	情報の発表とコミュニケーション
13	プレゼンテーションソフトの利用	必要とする情報を簡潔にまとめ、視覚化する手法を学ぶ 2 PowerPoint と Excel の総合演習	実習	
14	プレゼンテーションソフトの利用	リハーサル、原稿、配布資料などの準備 プレゼンテーションを行う	実習	
15	実技試験		実習	
教科書 情報リテラシーwin11 office2021 対応 (FOM 出版) 系統看護学講座 別巻 看護情報学			評価方法 ・出席状況 ・課題提出 ・実技試験	評価基準 60 点以上で合格とする

※1 教科書のタイトルを表示しています

52 回生シラバス

科目名：論理的思考		単位数：1	担当者：① 非常勤講師	総時間数（回数）：30（15）	時期：1 年次前期
科目目標： ・思考力、判断力、表現力等を高め、クリティカルシンキングのための基礎的能力を養う。					
回	単元	単元目標と内容		方法 担当	学習範囲 事前課題
1	ディベート	「ディベートの概論」について理解する。		講義と演習 ①	教科書① 第 1 章 第 1 講
2		「ディベートの議論の流れ、スピーチの役割」について理解する。		講義と演習 ①	第 1 章 第 2 講
3		練習ディベートの準備をおこなう。		講義と演習 ①	第 2 章 第 3 講
4		練習ディベートを実施する。		講義と演習 ①	第 2 章 第 4 講
5		本番ディベートへ向けて練習ディベートを振り返る。		講義と演習 ①	第 2 章 第 5 講
6		「立論の組み立て方」について理解する。		講義と演習 ①	第 2 章 第 5 講
7		「反駁の仕方」について理解する。		講義と演習 ①	第 2 章 第 6 講
8		「尋問の仕方」について理解する。		講義と演習 ①	第 3 章 第 7・8 講
9		「ロジックの検討」について理解する。		講義と演習 ①	第 3 章 第 9 講
10		「第二反駁の仕方」について理解する。		講義と演習 ①	プリント
11		「わかりやすい話し方」「審判の仕方」について理解する。		GW ①	
12		ディベート試合を実践する。		GW、発表 ①	
13					
14		ディベート試合を振り返る		試験 ①	
15	終講試験				
教科書 ① 『大学生のためのディベート入門 論理的思考を鍛えよう』（ナカニシヤ出版）				評価方法 授業時あるいは授業後に提出する練習問題や課題および終講時の筆記試験（70 点） ディベート試合の準備、実践（30 点） 評価基準 60 点以上で合格とする。	

52 回生シラバス

科目名： 単位数： スタディスキル 1		担当者： ① 副校長 (臨床実務経験有)	総時間数(回数)： 15 (8)	時期： 1 年 前期
科目目標： ・学習に臨む姿勢やスキルを学び、自律した生活態度と自己管理能力を身につける。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前課題
1	看護学校で学ぶために スタディスキルとは	・看護学校での学修についてイメージできる 1 看護学生の生活 2 学習ピラミッド 3 社会人基礎力とは ・「生徒」と「学生」の学び方の違いを理解する 1 「生徒」と「学生」の違い 2 何をどう学ぶのか 3 学習習慣の構築について 4 年間目標の設定 5 タイムマネジメント	講義 ① 講義 ①	配付資料 社会人基礎力ファイル(参考書③) 配付資料 参考書②第1章
2	ノート・テイキング リーディングの基本スキル	・ノート・テイキングスキルについて理解する 1 ノート・テイキングのスキル 2 講義ノートをとる 3 ノート・テイキングの実際 ・リーディングの基本スキルについて理解する 1 テキストを読むとは 2 テキストを読む前に 3 より深いリーディング：要約する	講義 ①	配付資料 参考書②第2章 参考書②第3章・4章 看字ドリルテスト1
3 4	看護学生のための「読む力」	・看護における読むことの重要性について理解する 1 「読む」ことと「読み取る」こと 2 自分のものさしと共通のものさし 3 「読む」力をつける ・文章を「読む」視点について理解する 1 読む目的をもつ 2 読み方を工夫する 3 読んだ内容について考える 「読む」レッスン	講義 ① 演習	教科書① Chapter2 看字ドリルテスト2 看字ドリルテスト3
5 6	ライティングの基本スキル 看護学生のための「書く力」	・ライティングの基本スキルについて理解する 1 レポートとは 2 レポート作成の手順 3 論文作法 ・看護における書くことの重要性について理解する 1 主題(テーマ)と要点(ポイント) 2 読み手に伝わる文章とは 3 「書く」力をつける ・文章を書く視点について理解する 1 読み手を意識する 2 書き方を工夫する 3 文章を読みなおす 「書く」レッスン	講義 ① 講義 ① 演習	配付資料 参考書②第8章 教科書① Chapter3 看護の日エピソード 看字ドリルテスト4 看字ドリルテスト5

7	看護学生が読んで書くということ	・「読む」と「書く」ことの循環	講義 ① 演習	教科書① Chapter4 看字ドリルテスト 6
8	終講試験		試験 ①	
教科書 ①看護学生のための「読む力」「書く力」レッスン BOOK（日本看護協会） ②看護学生のための看字ドリル（SENKOSHA） 参考書・配付資料 ①忘れられない看護エピソード集 （日本看護協会） ②大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ（くろしお出版） ③看護職としての社会人基礎力の育て方第2版（日本看護協会出版会） ④看護学生のためのレポート書き方教室（照林社） ⑤1日20分10日でできる看護計算ドリル（照林社）			評価方法 ・レポート課題 20 点 ・筆記試験 40 点 ・看字・看護計算ドリル 20 点	
			評価基準 60 点以上で合格とする。	